

土砂災害に備えて

地域でつくる避難計画図

セーフコミュニティちちぶ

災害時の安全対策委員会の活動

集中豪雨に伴う河川の氾濫や土砂災害の発生など、全国各地で今までに類をみない規模の災害が発生しています。

秩父市は、比較的災害の少ない地域といわれていますが、埼玉県が指定する土砂災害危険区域が1,100か所以上あります。そのため、大雨の時には土砂災害発生の危険性が高く、日頃からの備えが重要となります。土砂災害は、一定の区域内に被害が集中する部分的な災害のため、危険な区域から、安全な場所までの避難経路が重要です。そこで、災害時の安全対策委員会では、避難計画図の作成に力を入れています。

久那地区と白久地区が作成した避難計画図は、地域の関係者が中心となり、危険な区域と、避難場所の確認をした上で、避難する際の経路と避難に要する時間を地図に記入します。そして、土砂災害の危険性が高い場所や、土砂などで避難経路が遮

断される危険箇所などを話し合い、安全な避難経路を地図にまとめます。作成された避難計画図は、地元住民へ配布し、地区防災訓練等を活用し、避難経路の確認を行っています。

年々、異常気象による集中豪雨や大型の台風が発生しています。自分が住んでいる地域の危険箇所はハザードマップで確認を行い、早めの避難を心掛けてください。引き続き、市民の皆さんとともに、より安全で安心なまちの構築を目指し、取り組みを推進します。

☎ 危機管理課 22-2206



避難計画図作成の様子

大雨・台風に備えて

近年、異常気象による災害が多く発生しています。初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、暴風による自然災害が発生しやすい季節です。気象庁から発表される「注意報」や「警報」などの防災気象情報を有効に活用し、早め早めの防災行動をとるようにしましょう。

土砂災害警戒情報が出たら...

土砂災害警戒情報は、土砂災害発生の危険度がさらに高まった時に発表されます。命を奪うような土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況であることを伝える情報です。避難が必要になった時に備えて、非常持ち出し品の点検や、避難場所までの経路の確認なども行いましょう。

もしも避難が必要になった場合には、持ち物は最小限にとどめ、リュックサック等を使い、両手が見えるようにしておきます。台風が一番荒れている時の避難を避け、雨風ともに少し弱まった時に避難してください。

なお、屋外に出ることさえ危険な場合は自宅の2階または崖や沢からできるだけ離れた部屋に移動するなど、少しでも命の助かる可能性が高い安全確保行動をとるようしてください。

防災・災害情報

● カクニクン
防災行政無線の内容を電話で確認できます。
☎ 0800-800-5747
(通話料無料)

● 安心・安全メール

防災・災害情報をメールで受け取ることができます。いざという時のためにぜひご登録をお願いします。

登録方法

QRコードを読み取るか、
Techichibu@sg.n.jp
へ空メールを送信し、
設定画面に従って登録してください。

☎ 危機管理課 22-2206

